

平成22年度 第5回うらやす市民大学運営委員会 議事要旨

日時：平成22年11月24日午後1時30分～3時

場所：うらやす市民大学受講室

【出欠状況】

出席：古在委員長、山内副委員長、宮崎委員、阪本委員、高橋委員、杉村委員、山本委員、武田委員、中山委員、織戸委員、伊藤委員（11名）

**カリキュラム検討部会委員：高柳委員、宮澤委員、斉藤委員

事務局：金子（昇）、岩波、金子、一戸、林サポーター、仲澤サポーター

【資料】

資料1：平成22年度後期受講生数について

資料2：カリキュラム検討部会 最終報告書

資料3：平成23年度運営スケジュール（案）

資料4：第4回運営委員会議事要旨

1. 平成22年度後期受講生数について

事務局より資料1を基に、平成22年度後期受講生数について説明があった。

①5科目が定員オーバーとなったため、定員を25名→30名、40名→50名に見直した。結果として、次の3科目で抽選となった。

- ・うらやすで園芸を通じた幸せ社会を考えるⅡ
- ・うらやすの街づくりを考える
- ・うらやすから「超・経済学」を考える

②抽選の結果、1科目も当たらなかつた方が9名、そのうち6名の方は新規科目へ転入し、3名の方は入学希望を取り下げた。

③新規入学生は、45名と大幅に減つた。理由は次のとおり。

- ・科目数が、前期15科目から今期9科目、と減つた。
- ・後期授業開始が11月13日と遅く、授業が12月・1月と一般的に忙しい時期に重なっている。

2. カリキュラム検討部会最終報告

事務局サポーターより資料2を基に、カリキュラム検討部会最終報告がされた。

①科目群の体系について

②「出会い」「気づき」「担い」について

③科目群の構成について

④高柳委員、宮澤委員より、次の2つのシラバスが説明された

- ・うらやす市民参加事始
- ・うらやすの情報を発信する

(主な意見等)

- ・前期と後期、何時分ける？
→事務局：10月末頃か？
- ・山内副委員長より
前期10コマ、後期10コマで計画したい。
約1/4の内容を継続とし、後は講師・内容を入れ替えていきたい。
- ・「担い」が基本だと思うが、知識も得たい。
- ・あまり「担い」を前面に出すと間口を狭めることになるので、何か対策が必要。
- ・ほんとうに「担えるか」の問題だと思う。
実践として、地域行政と連携を取れるようなリーダーの育成が必要だと思う。
成熟した市民社会が基礎に有ることであり、それには生涯教育も大切だと思う。
- ・古在学長より
こういった事項は、大学設立時からの課題であった。
公民館での生涯学習とは、「違います」と言わざるを得ない。
協働については、自分も含め皆さん理解不足だと感じている。
「協働のリーダー」と「サークルのリーダー」は違うと考える。
リーダーシップのイメージは個々人で違うようだが、「協働のリーダー」はファシリテーター (Follower・Ship) のように一步下がった者だと思う。
- ・「出会い」「気づき」「担い」の3つの科目群に整理されたので、分かり易くなったと思う。
協働に関しては、リーダーの養成が急務だと考えている。
- ・市の協働提案制度が始まったが、時間を掛けて試行錯誤しながら進めていきたい。

3. 平成23年度運営スケジュールについて

事務局より、資料3を基に平成23年度運営スケジュールの説明があった。

- ①平成23年度の始業式は、平成23年6月15日の予定。
- ②平成23年度カリキュラム決定は、1月末の予定。

以上